

生命にかかわる事件の新聞記事を活用した国語科の指導事例【高等学校】

社会の出来事の活用

自己の考
えの深化
を図る工
夫

本事例は、新聞記事を活用した書くことや話すことの指導を通して、実際に起こった社会の出来事を教材として、生命の尊重や人間としての在り方生き方などについて考えることで、自他の生命や人権を尊重する態度を育成します。

一つの事件について複数の新聞社の記事をコピーして準備し、生徒はそれを読み比べ、記事を選びます。事件の内容の報道より、それについての識者などの意見を掲載した記事を取り上げると効果的です。

たこと、考えたことを欄外に書いていきます。また、図書館やインターネットで関連する資料を収集します。

[illegible]

伝え合う
力の育成

生徒はグループ討議などを通して、同じ事件でも記事によって観点が違ったり、人によって受け止め方が違ったりすることがわかり、多様な考え方を理解するようになるとともに、自分の考えを的確に相手に伝えることの難しさを知り、相手の立場や考えを尊重する気持ちをもつようになりました。

16

第2学年国語表現Ⅱ単元指導計画（5時間配当）

*事前に、児童虐待や殺人事件など生命の尊重にかかわる新聞記事を用意する。

【第1時】

○ねらいの説明。複数の新聞記事を読み、各自で記事とテーマを決定する。

【第2時】

○記事のコピーに、傍線やマーカーを引き、感想やコメントを記入する。必要に応じて、図書館やコンピュータ室で関連する情報を収集する。

【第3時】

○コメント等を基に、200字の意見文を作成する。
意見文をうまく書けない生徒には、記事を200字で要約させる。

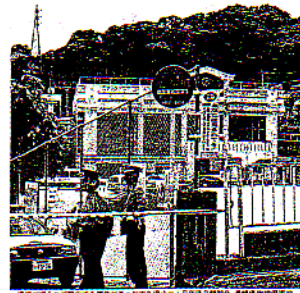
【第4時】

○テーマごとに5人程度のグループに分かれ、互いに意見文を読み合いながら、テーマについて討議する。

【第5時】

○クラス発表会。テーマごとにグループの代表が3分で意見を発表し、その後、質問を受ける。
*希望者は、意見文を新聞に投稿。

小6、同級生に切られ死亡



給食時、特別教室で
佐世保、県警、女児を補導

【佐世保市】佐世保市立小6の児童が、同級生に切られ死亡した。佐世保市立小6の児童が、同級生に切られ死亡した。佐世保市立小6の児童が、同級生に切られ死亡した。

6歳長女虐待死

体重9kg、両親を逮捕

大阪

大阪府警は11日、虐待死した6歳長女を保護した。両親を逮捕した。両親を逮捕した。両親を逮捕した。

インターネットやチャットのトラブル、出会い系サイト等の新聞記事から、好ましい人間関係の在り方について考えさせることもできます。

新聞記事以外にも、インターネットニュースや各種サイト、雑誌、書籍などからも、適切な内容のものがあれば積極的に活用しています。

○新聞に掲載された生徒の意見

最近、幼児虐待のニュースが後を絶たない。毎日毎日、苦しんでいる幼児が何人もいるのだと思うと、つらくなる。実は私にも、幼いころ、自宅の近所で、虐待の現場を目撃した経験が何度もある。

親は、底の厚いサンダルのヒールで、子どもの頭をけ飛ばしていた。親が一方的に暴力をふるい、子どもはただ黙ったやられるだけ。決して痛いとも言わず、反抗もできず、されるままだった。

その時はまだ幼かった私は、止めに入っていくこともできず、ただ見ているだけだった。

今になって後悔しても遅いが、「もっと何とかできたのではないか」と思うことがある。

この先、同じような虐待を目撃するようなことがあれば、私は、過去の経験を生かし、苦しんでいる子どもたちを助ける側に立ちたいと思う。

◆実践のポイント◆

新聞記事等、社会の出来事の活用

実際の出来事について、新聞記事等により識者のコメントや関係者の心情を知ること、人権や生命の尊重等について深く考えることができるようにしています。

話すこと・聞くことを通した伝え合う力の育成

話し合いや発表の場面を設定することで、自分の気持ちや考えを適切に相手に伝えるとき、互いに尊重し合う態度を育成しています。